

強者の戦略

2021 年度 東大地理 第2問〔問題編〕

世界の言語と教育にまつわる出題です。基礎的な知識問題あり、リード文や問題文をよく読んだ上での思考力を問う問題あり、と一筋縄ではいかない問題が出題されました。知らないから答案が書けない、と諦めるのではなく、もうちょっと粘って考えて欲しいと思います。

【2021 年度 東京大学 文科前期 第2問】

世界の言語状況と教育に関する以下の設問A～Bに答えなさい。解答は、解答用紙の(ロ)欄を用い、設問・小問ごとに改行し、設問記号・小問番号をつけて記入しなさい。

設問A

国連憲章が規定する国連の公用語は、(ア)、フランス語、ロシア語、英語及びスペイン語の5カ国語であるが、今日では、(イ)を加えた6カ国語が、総会や安全保障理事会の用語として用いられている。世界の言語状況を見ると、これら6カ国語以外にも、広大な国土の広い範囲で、あるいは国境を越える広い範囲で、異なる母語を持つ人々の間で共通語・通商語として用いられている言語が存在する。東アフリカのタンザニア、ケニア両国で国語となっている(ウ)がその代表例である。

- (1) 上記文中の(ア)、(イ)、(ウ)にあてはまる言語を、ア～ウのように答えなさい。
- (2) インターネットの普及は、国際社会で使われている言語の状況にどのような変化をもたらしたか、1行で述べなさい。
- (3) インド、インドネシアはいずれも多民族・多言語国家であり、インドではヒンディー語が連邦公用語に、インドネシアではインドネシア語が国語になっている。しかし、これらの言語の公用語としての使用の広がりとは両国で大きく異なっている。その違いを、以下の語句をすべて用いて3行以内で述べなさい。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。

英語 地域語 州

- (4) シンガポール、マレーシア、インドネシアの華人社会では、標準中国語(普通話)ではなく、いくつかの中国語の有力な方言が、日常生活で広く用いられている。例として具体的な方言名を1つ挙げ、こうした状況にある歴史的背景を2行以内で述べなさい。

強者の戦略

設問B

表は、20～24歳人口(2015年)1万人に対する4つの国への留学者数(2016年)を示したものである。以下の問いに答えなさい。

- (1) A～Cにはマレーシア、韓国、インドのいずれかの国が入る。それぞれどの国であるのかを、A～○のように答えなさい。また、C国において留学国の構成が他の国と大きく異なっている理由をあわせて3行以内で述べなさい。
- (2) 表に挙げられている国の中で、オーストラリアは、人気の高い留学国となっている。理由として考えられることを2つ、あわせて2行以内で述べなさい。
- (3) 20～24歳人口1万人に対する4つの国への留学者数の合計は、B国が最も多い。同国から多くの若者がこれらの国に留学するようになった理由を、以下の語句をすべて用いて2行以内で述べなさい。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。

学歴社会 国際競争

表

(2016年)

出身国	留学国			
	オーストラリア	カナダ	イギリス	アメリカ
中国	11.1	6.0	8.8	30.6
A	3.9	1.7	1.4	11.5
日本	2.8	2.5	4.8	25.1
B	17.0	13.3	14.1	169.2
C	48.7	3.2	55.2	26.8

単位：人

上記の値は、留学国の特定の日または特定の期間の在学者情報に基づいている。そのため、留学期間が1年に満たない学生や在学を必要としない交換留学プログラムの学生等、上記の値に含まれない留学生が存在する。
国連およびOECD資料による。